

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和6～7年度)	事業の成果 (令和6年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
1	○	鳥取市・麒麟のまち圏域魅力発見支援事業費	本市に所在する大学または専門学校に通う学生を対象に、麒麟のまち圏域の企業への就職促進や地域の魅力の理解促進を図ることで、若者定住につなげる。	・学生の麒麟のまち圏域への就職を促進する事業への補助 ・学生が麒麟のまち圏域に住みたいと思えるような魅力を発見するための事業への補助 補助件数4件（大学2件、専門学校2件）	市内大学及び専門学校が学生に対して実施する活動を支援することで、学生の地域への愛着心の醸成や定住意欲の向上を図った。	就職を理由とする若者の都市部への流出が続いているため、市内の大学や専門学校が、学生を対象に実施する麒麟のまち圏域の企業等への就職促進活動や魅力発見活動の支援を継続し、若者定住につなげていく。	企画推進部	政策企画課	71
2	○	文化芸術推進事業補助金	文化芸術に関する事業に必要な経費を補助することにより、自主的な文化芸術活動の促進、地域に根差した文化芸術の振興を図る。	市民による文化芸術に関する事業への支援を実施した。 ・イベント開催等に対する支援 12件 ・次世代育成（アートスタート）事業に対する支援 4件 ・伝統芸能用具整備に対する支援 4件	市民による活動を支援することにより、文化芸術活動の衰退やまちの活力や魅力の低下を防ぐことで、文化芸術によるまちづくりの推進に貢献した。	文化芸術によるまちづくりを進めるうえで、地域の文化芸術活動の活性化が必要であることを踏まえ、今後も市民による活動に対する支援、普及啓発、次世代育成などに取り組む。	企画推進部	文化交流課	74
3	○	人材誘致・定住促進対策事業費	移住定住専任相談員等の配置や移住・交流情報ガーデンの設置により、移住相談者等に対する伴走型支援を実施するとともに、移住希望者が本市の情報に触れる機会の増加に向け、大都市圏での移住相談会への出展や移住定住専用ポータルサイトの運営等による戦略的な情報発信を展開する。 さらには、お試し定住体験施設の管理運営や地域団体等との連携による中山間地域の空き家の利活用を促進することで、移住定住の推進や自立した地域コミュニティの維持につなげる。 加えて、麒麟のまち1市6町で連携した取組の実施により、圏域での移住促進を図る。	・移住相談窓口（本庁舎）及び鳥取市移住・交流情報ガーデンの設置 ・移住定住専用ポータルサイトの運営及び戦略的な情報発信の実施 ・東京及び大阪での全国規模移住相談会（オンライン開催含む）への出展 圏域合同2回 単独6回 ・各種移住支援制度による補助金の交付 計31件 ・お試し定住体験施設の管理運営 4施設（市街地1、用瀬1、佐治1、気高1） ・移住定住空き家バンクの管理運営 9地域 ・移住定住等による中山間地域の空き家の利活用に係る各種補助金の交付 計5件 ・麒麟のまち圏域の空き家情報の発信	対面移住相談会への出展や各種SNS及び移住定住専用ポータルサイト「とっとりコネクト」での情報発信等により、令和6年度は272世帯の移住相談登録があった。相談者に対する移住定住専任相談員による伴走型支援の実施や各種移住支援制度による支援により、507人（4月時点の鳥取市調べ）と過去最高の移住者の受け入れにつながった。これにより、地域の活性化が期待される。	前年度との比較で、移住相談登録者数・移住者数はともに増加した。今後もポータルサイト等での情報発信により登録者数の増加を図るとともに、移住定住専任相談員による丁寧な相談対応により移住者数増へ繋げていく。また、移住希望者等のニーズ把握に努め、移住支援施策の充実を図る。	市民生活部	地域振興課	82
4	○	とっとり・つながり創出事業費	本市への移住定住の促進には、本市と「つながり続ける」または「つながりを作る」関係人口創出の取組が重要となっている。そのため、鳥取県東部の高校生が進学・就職で鳥取県外に転出した場合においても、SNSの活用により、ふるさとに関する情報を受け取ることができる環境の構築に取り組み、「つながり続ける」の実現を図る。また、先輩移住者や地域団体などと連携し、いなか暮らしを体験していただく取組により、「つながりを作る」の実現を図る。	・とっとり・つながりインフルエンサーグランプリを開催し、14組約80名の高校生が参加した。 ・とっとり・つながり体験ツアーを11月23日（土）～24（日）に実施 2組4名が参加した。	とっとり・つながりインフルエンサーグランプリで鳥取県東部の高校生がSNSに投稿することにより、高校生のフォロワーが増え、ふるさとに関する情報を受け取ることができる「つながり続ける」環境の構築につなげることができた。 また、体験ツアーで地域団体と連携した農業体験や先輩移住者との交流を通じて鳥取市での生活をイメージしていただき、「つながりを作る」ことができた。	本市への移住定住の促進のため、効果的な事業を検討しながら「つながり続ける」、「つながりを作る」関係人口創出の取組を促進していく。	市民生活部	地域振興課	82
5	○	地域の魅力創出事業費	中山間地域の美しい原風景や地元のグルメを楽しみながら県東部一円をめぐる自転車周遊イベント等への支援を通じて地域の魅力発信に取り組む。	鳥取砂丘や浦富海岸などのジオスポットや吉岡温泉を巡る自転車周遊イベントへの支援 ・大規模周遊自転車イベント運営補助金 【実績】 鳥取すごい！ライド2024 1件 1,000千円 参加者 464名（ゲスト・サポートライダー33名含む。）	当該事業により、県内外からのイベント参加者が本市の中山間地域等をめぐり、地域の魅力発信が図られた。	令和7年度も引き続き鳥取すごい！ライドを開催し、県内外のサイクリストに対し、鳥取市及び県東部圏域の魅力発信を図っていく。	市民生活部	地域振興課	85

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

No	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和6～7年度)	事業の成果 (令和6年度)	施策への貢献度 (実績)	今後の課題・方向性	部局名	課名	関連事業 (決算事業別概要ページ)
6	○	グリーンツーリズム推進事業費	関係団体との連携や中山間地域における体験型民泊を展開する事業者支援等を通じ、農山漁村の活性化に取り組む。	グリーンツーリズムに取り組む民間団体の活動支援 ・鳥取市グリーンツーリズム連絡会への補助 1件 ・武蔵野市家族自然体験交流事業の実施（鳥取県・鳥取市・岩美町による事業）	グリーンツーリズムにおける体験活動や民泊事業を行う団体に対し支援を行ったことで、県内外から宿泊を伴う体験事業参加者があり、農山漁村に暮らす住民と都市住民の交流の拡大が図られた。	グリーンツーリズムを地域活性化の有効な手段と位置づけ、今後も新規団体の掘り起こしや、加盟団体の活動支援を継続して行う。	市民生活部	地域振興課	86
7	○	SDGs未来都市推進事業費	【環境】再生可能エネルギーの普及活動を推進する。太陽光発電パネルガラスリサイクル材を活用した事業を推進する。 【経済】環境面の取組を活用した次世代農業の育成を推進する。 【社会】企業に対して、地域への継続的な関わりの機会を創出し、関係人口の拡大を図る。	・太陽光発電パネルガラスのリサイクル材の活用を行っている企業に経費の一部を支援 2件 ・誰にでも使いやすいアプリによって持続可能なまちづくりを目指す企業に経費の一部を支援 1件 ・地域資源（伝統文化）を活用し地域活性化を図る団体にプロジェクト経費の一部を支援 1件 ・鳥取市SDGs未来都市のステークホルダーが行う、プロモーションに対する経費の一部を支援 1件	スマホ・タブレットアプリのUI等を高齢者にも使いやすく改修し、住民サービスの向上や、持続可能なまちづくりに貢献した。他にも、太陽光発電パネルガラスのリサイクルを行う企業や、本市の取組について広報を行う企業にも各種支援を行い、SDGs未来都市計画の推進に貢献した。	今後も太陽光発電パネルガラスのリサイクルを行う企業や再生可能エネルギー100%の電力を活用した農業を行う企業に支援を行い、「エネルギーの地産地消」「企業による農業参入の推進」「地域課題解決型ワーケーションの推進」を中心に、SDGs未来都市計画の目標達成に向けて取り組んでいく。	経済観光部	スマートエネルギータウン推進室	165
8	○	雇用促進協議会支援事業費	若者の地元就職の促進や雇用の安定を図るため、雇用創造・雇用促進に関係する機関や団体で構成する「鳥取市雇用促進協議会」が実施する事業を支援する。	・若者の地元定着促進事業（地元企業早期プランディング事業等）の実施 高等学校5校の622人が地元企業34社に訪問（鳥取西高校：1年生269人・鳥取敬愛高校：2年生29人・八頭高校：2年生152人・鳥取商業高校：1年生135人・鳥取湖陵高校：1年生37人） ・若者の地元定着促進事業（高校での出張企業説明会等）の実施 高等学校3校の170人、地元企業延べ18社が参加（鳥取商業高校：63人、6社・青谷高校：47人、4社・鳥取湖陵高校：60人、8社） ・人材確保・職場定着促進事業（セミナー開催） 令和7年3月6日 採用・育成・定着セミナー開催 セミナー参加者：18社21名 相談会参加者：4社6名 ・人材確保・職場定着促進事業（企業と高校就職担当者との情報交換会） 令和7年1月28日、2月26日開催 高等学校7校、11企業が参加	地元の高校生が、就職を検討する際に地元企業を知っていただくことに貢献している。	有効求人倍率が平成27年7月から連続して1倍を超える状況が続いており、人材不足が長期化している。若年者の地元企業への就職の促進、職場への定着率の向上など、引き続き労働需給の均衡に関する諸課題の解決に向けて取り組んでいくことが必要である。	経済観光部	経済・雇用戦略課	165
9	○	関係人口推進事業費	関係人口拡大のために取り組む、ワーケーションプログラムの造成事業を支援する。	・ワーケーションネットワーク協議会の運営支援 723千円 ・ワーケーションプログラム造成・実施経費支援 実績なし	関係機関相互の情報の共有や首都圏でのPR活動などの取組により、本市のワーケーション受入環境の認知度向上と関係人口の創出に寄与した。	関係人口の増加が将来的な移住や企業誘致につながることを踏まえ、引き続き、本市へのワーケーションプログラムの誘致などに取り組む。	経済観光部	企業立地・支援課	175
10	○	定期借地権付土地分譲事業費	定期借地権付土地制度をPRし、青谷町望町団地及び鹿野町湯川団地の分譲を促進した。	・鹿野町湯川団地2区画の分譲（うち定期借地権付き分譲2区画）	住宅団地の分譲が進むことで、自然豊かな中山間地の定住が図られた。	鳥取西道路開通による分譲団地の利便性向上等を踏まえ、テレビCM等積極的な広報・PRを行い、更なる分譲促進を図る。	都市整備部	建築住宅課	242
11	○	ジゲおこし事業費	地域の観光資源を活用したイベントを支援することにより、地域の活性化や関係人口の創出・拡大を図る	地域の大学生等と連携して実施するイベントへの助成 ○事業名：いなば用瀬宿横丁さんぽ市 ○内容：かつての宿場町用瀬町の各所に展開された屋台を楽しみつつ、町の魅力を感じていただく来場者参加型のイベント 日時：令和6年11月17日開催	地域の大学生15名が屋台を展開するなどしてイベントへ参画した。また県内外から約560名の参加があった。	町の魅力を広く発信し、用瀬に足を運んでいた関係人口・交流人口創出の取組として、今後も継続して実施する。	用瀬町総合支所	用瀬町総合支所地域振興課	288